

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立 八幡西障害者地域活動センター	施設類型	目的・機能
	所在地	北九州市八幡西区香月西四丁目5番3号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所在地	北九州市戸畑区沖台二丁目4番8号 育成会会館3階		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（生活介護、自立訓練（生活訓練）、就労継続支援（B型））の管理運営。		
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント			
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み			
(1) 施設の設置目的の達成			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。			
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。			
[所見]			
【利用率】 (単位：%)			
年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度
目標値	109	100	90.0
実績	88.7	86.4	66.6
※利用率算出方法：延べ利用者数÷（定員×開所日数）			
※ <input type="text"/> …対象年度（以下、同じ）			
① ・八幡特別支援学校や八幡西特別支援学校、小池特別支援学校から卒業生を受け入れており、身体障害や強度行動障害がある方も受け入れている。事前にサービスを体験してもらい、各学校の進路先として利用者の新規獲得につながっている。			
・全体的に利用者が減っており、利用者の障害の重度化や家族等の高齢化による介護力の低下によって入所施設に移行する方や新型コロナウイルス感染症で在宅支援に慣れてしまい、通所支援から在宅支援に移行する方が増えたためである。			
【月平均工賃額（就労継続支援B型）】（単位：円）			
年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度
目標値	17,000	18,000	18,000
実績	11,157	15,729	15,421
① ・施設外就労先、施設外支援先を新たに各1ヶ所ずつ増やし、また野菜の増産に着手するなど工賃の増に取り組んでいる。			
・農福連携の取り組みをしており、近隣の幼稚園や学童保育と交流を図るとともに市民ボランティアと協力して、農作業を行いながら、園児の食育の一端を担っている。高齢化等の理由で農業を続けていくことが難しくなっている地域に対し、水田を借りて作物の栽培を行っており、栽培、収穫、包装を就労継続B型・生活介護の利用者で作業し、商業施設で販売し、利用者の意欲向上に努めている。			
② ・広報紙とホームページで広報活動を行っており、作業や職場（施設外就労・支援）の新規開拓につなげている。			
③ ・事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めて			

いる。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。
- ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

施設の総合評価

【満足度】

(単位：%)

年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度
目標値	90	90	90
実績(生活)	84.4	82.1	91.6
実績(就労)	77.6	82.8	93.4

- ① ・アンケートの結果、施設の各サービスの「良い」、「まあまあ良い」を合わせた利用者満足度の評価は、平均で92%（生活介護92%、就労支援93%）となっており、利用者の満足度は非常に高いものとなっている。
・外出レクリエーションを望む声が多くあるが、障害の重い利用者や健康面に不安のある利用者もいるため、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、開催は慎重に判断している。
- ② ・前年度のアンケートの要望・意見について、改善の取組みをしており、食事のメニューの見直しや作業内容の拡充等、改善に取り組んでいる。
- ③ ・法人として苦情解決制度を設けており、事業所においても利用者の意見、要望、苦情、不満等を真摯に受け止め、利用者及び家族との面談、施設内カンファレンスを開催し、解決に努めている。
- ④ ・毎月15日、翌月の行事予定表と献立表を事前に配布、行事や各事業の取組みの周知を図っている。
- ⑤ ・新型コロナウイルス感染症予防のため、ボランティアの受入れは継続の1名のみとなったが、相談援助実習延8名、精神看護学実習37名、介護士養成・介護実習2名、保育士養成・保育実習1名と多くの社会福祉実習を受け入れており、社会福祉の担い手育成に努めている。
- ⑥ ・福岡県立大学や麻生医療福祉専門学校から社会福祉実習生を受け入れており、また農福連携のボランティアとして、毎週11名程度の市民（一部市外）と協力して事業に取り組んでいる。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【光熱水費】 (単位：千円)

年度	R2年度 (更新前)	R3年度	R4年度
予算	10,100	10,100	10,370
決算	8,699	10,565	10,905

- ① 気候に合わせて、使用する設備備品について定期点検や清掃及び温度設定の管理を行い、省エネに取り組んでいる。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

- ・提供するサービスは、障害者総合支援法に基づく法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫の余地がない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
- ④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

[所見]

- ① 施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、モニタリングの結果、施設の維持管理は適切に行われている。
- ② 法人が主催する研修会や、外部の研修・講習会に職員を積極的に参加させており、職員の資質・能力向上を図っている。
- ③ 農福連携において、市民ボランティアと協力して農作業を行ったり、近隣の幼稚園・学童保育と芋ほりをしたりするなど地域と協働して未利用農地の活用を行っている。
 - ・香月まちづくり協議会及び香月校区社会福祉協議会へ定例会等に職員が参加すると共に、香月市民センター福祉部会に所属し、水田の水路等の清掃、コスモス畑の種まきや除草作業に参加している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適

切に実施されているか。
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。
【所見】
①②
<ul style="list-style-type: none"> ・法人の規則に則り、利用者の個人情報保護、人権尊重及び身体拘束の適正化等への取り組みにより、適切な運営に努めている。
②
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なミーティングやカンファレンスにより、利用者支援についての振り返りを行うなど、適切な支援に向けた取り組みが行われている。
④
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの結果、収支の内容に不審なところはなく、適切に管理運営がされている。
⑤
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の送迎サービス時の車両事故の反省を活かし、既存の「安全運転マニュアル」に加え、新たに「送迎時の接遇マニュアル」を作成し、再発防止に努めている。
⑥
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯、防災対策のマニュアルを各種作成しており、定期的に見直しを行っている。また、防災訓練を定期的実施しており、非常災害時の危機管理体制を整えている。
⑦
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症については適宜、利用者、家族に対し文書を渡し、電話連絡で対応している。 ・新型コロナウイルス感染症等の感染症対策として、消毒液や加湿器、換気用扇風機の設置を行うなど施設内の感染症予防、利用者や職員の健康管理を行う等、対策の徹底に努めている。

【総合評価】

【所見】
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に沿って施設の運営管理が適切に行われ、利用者の障害特性やニーズにあったサービス提供に努めており、適正な施設運営が行われていると判断できる。 ・農福連携で周辺の未利用農地を活用し、地域と協力して農作物を作成・出荷したり、加工して販売する6次産業を行ったりと、八幡西障害者地域活動センター周辺の特性を活かした取り組みを行っており、利用者の意欲向上や工賃の上昇に努めている。 ・前年度の利用者アンケートでの意見に真摯に対応し、改善に取り組んでいることを評価する。今後も利用者の意見に傾聴し、利用者の満足度向上に努めることを期待する。 ・利用者アンケートから施設内の様子をもっと見たいという保護者からの意見が寄せられている。新型コロナウイルス感染症もあり、施設内を直接見学する等は難しいと考えるが、保護者への情報共有をより強化することを期待する。
【今後の対応】
<ul style="list-style-type: none"> ・現状に引き続き、施設の管理運営の適切な実施を期待する。